

Title	デジタルカメラ市場の一考察：市場の動向とスマートフォンの破壊的イノベーション
Author(s)	今野, 健一
Citation	年次学術大会講演要旨集, 30: 457-460
Issue Date	2015-10-10
Type	Conference Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/13316
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	一般講演要旨

デジタルカメラ市場の一考察

—市場の動向とスマートフォンの破壊的イノベーション—

今野 健一 (SKN コンサルティング)

1. はじめに

デジタルスチルカメラは、コンパクトデジタルカメラ、ミラーレスカメラ、デジタル一眼レフカメラ、交換レンズ（35mm、35mm未満）に分類されている。本研究は、デジタルスチルカメラの市場の動向と分析、企業のポジショニングについて考察を行ったものである。

2. デジタルスチルカメラ市場の分析

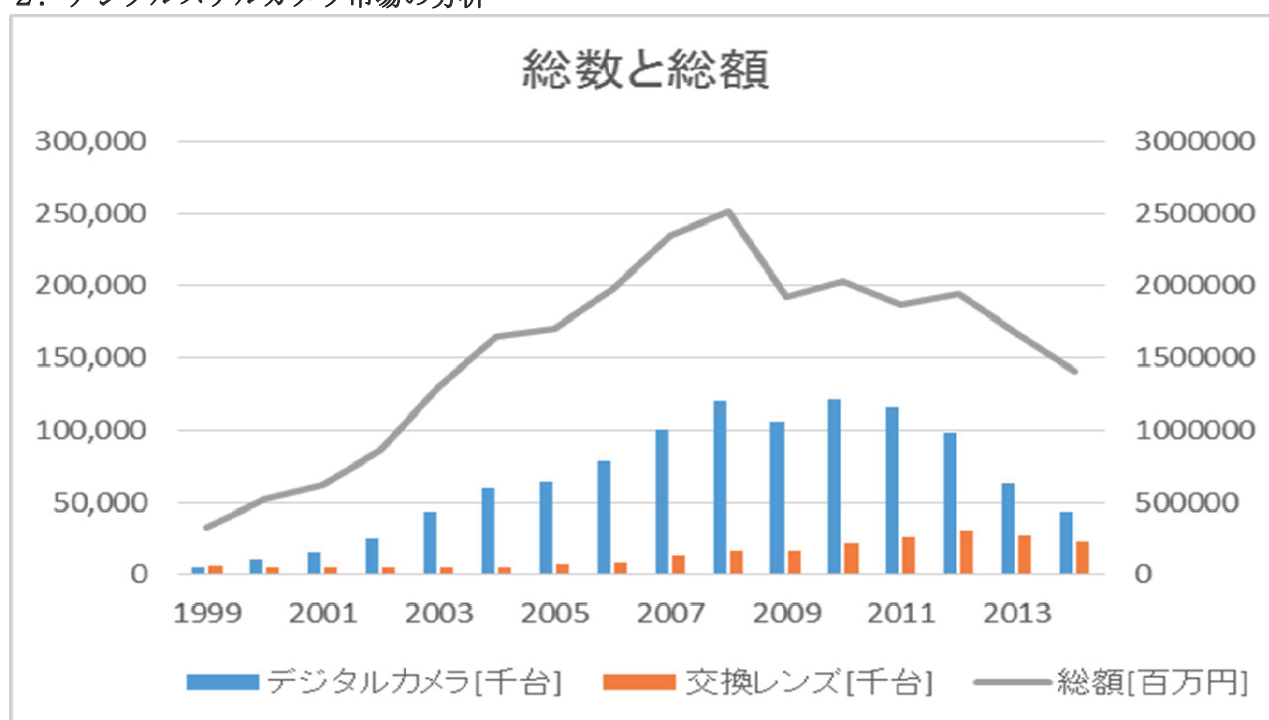


図1 デジタルカメラの総数と総額

デジタルカメラの総出荷台数は、2010年度1億2,146万台をピークに減少。交換レンズの総出荷台数は、2012年度3,037万台をピークに減少。デジタルカメラの総出荷額は、2008年度2兆1,640億円をピークに減少。交換レンズの総出荷額は、2013年度5,042億円をピークに減少。デジタルカメラの市場は縮小へ転じた。

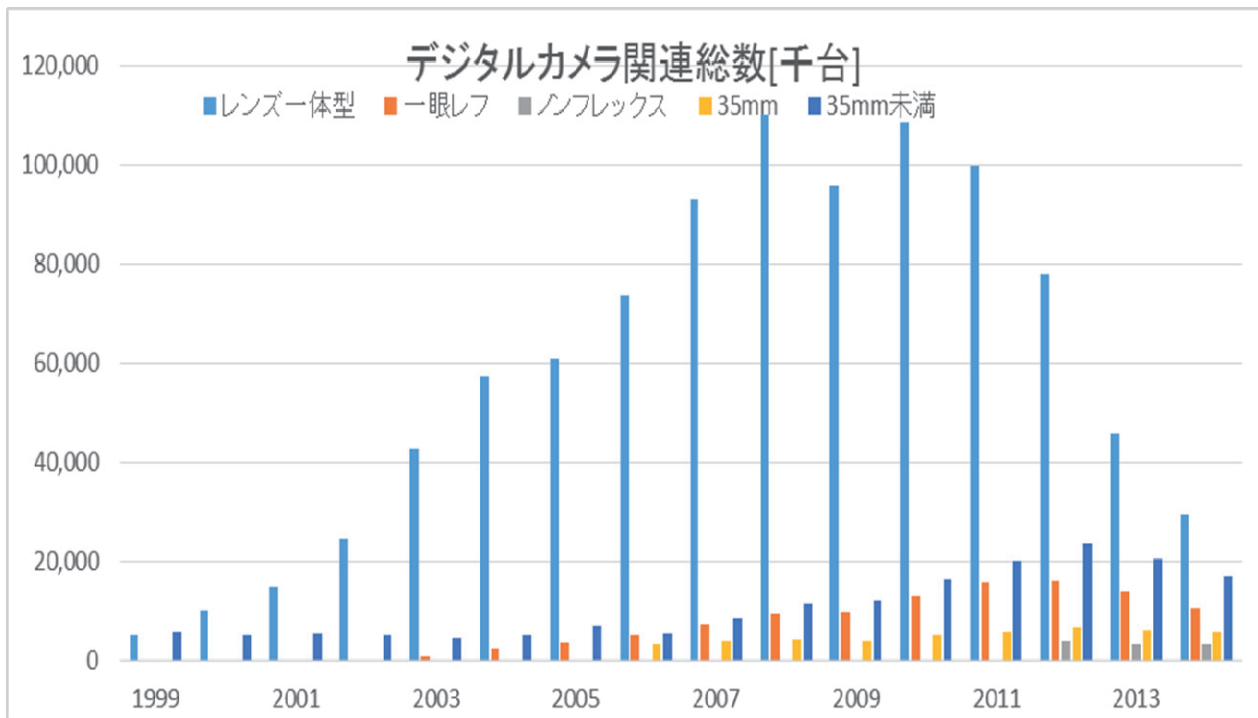


図2 デジタルカメラ関連総数

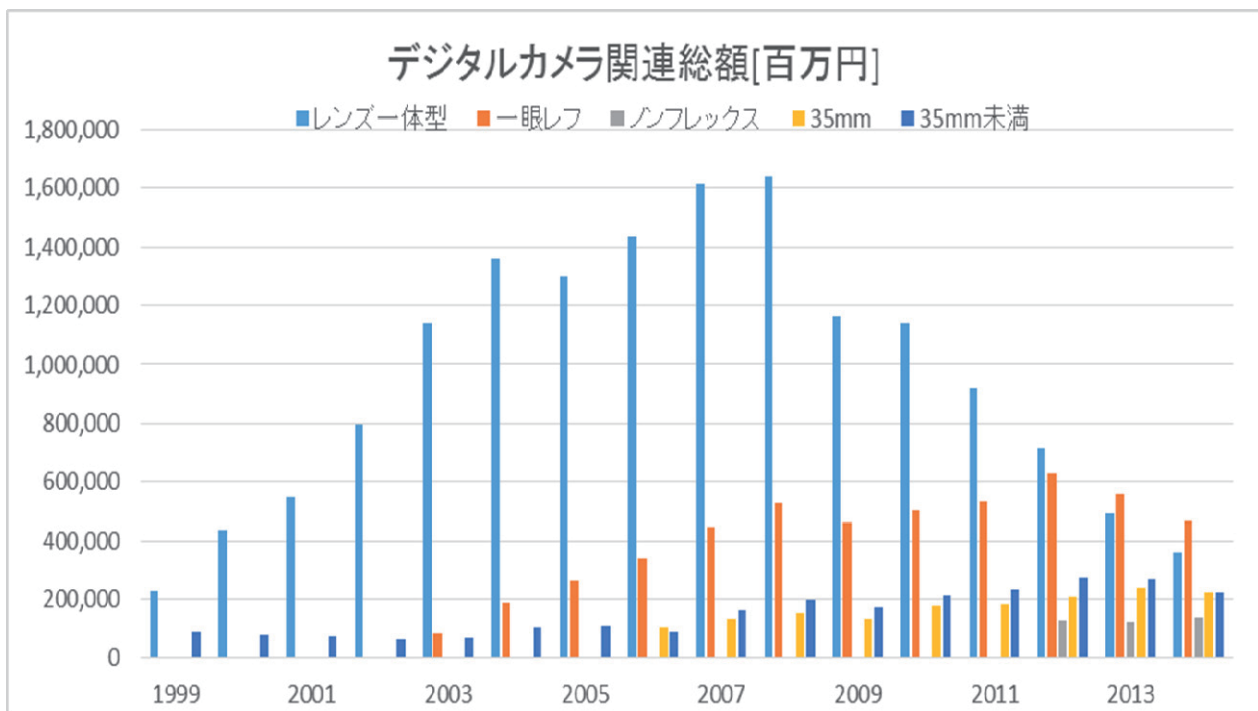


図3 デジタルカメラ関連総額

レンズ一体型カメラ（コンパクトデジタルカメラ）の総出荷台数は、2008年度1億1,007万台をピークに減少、2014年度2,960万台。デジタル一眼レフカメラの総出荷台数は、2012年度1,620万台をピークに減少、2014年度1,055万台。ノンフレックスカメラ（ミラーレスカメラ）の総出荷台数は、2012年度396万台をピークに減少、2014年度329万台。交換レンズ35mmの総出荷台数は、2012年度663万台をピークに減少、2014年度は、586万台。交換レンズ35mm未満の総出荷台数は、2012年度2,374万台をピークに減少、2014年度1707万台。デジタルカメラ関連の総数は減少した。

レンズ一体型カメラ（コンパクトデジタルカメラ）の総出荷額は、2008年度1兆6,387億円をピークに減少、2014年度3,592億円。デジタル一眼レフカメラの総出荷額は、2012年度6,279億円をピークに減少、2014年度4,682億円。ノンフレックスカメラ（ミラーレスカメラ）の総出荷額は、2014年度1,371億円と増加。交換レンズ35mmの総出荷額は、2013年度2,356億円をピークに減少、2014年度2,248億円。交換レンズ35mm未満の総出荷額は、2012年度2,738億円をピークに減少、2014年度2,235億円。

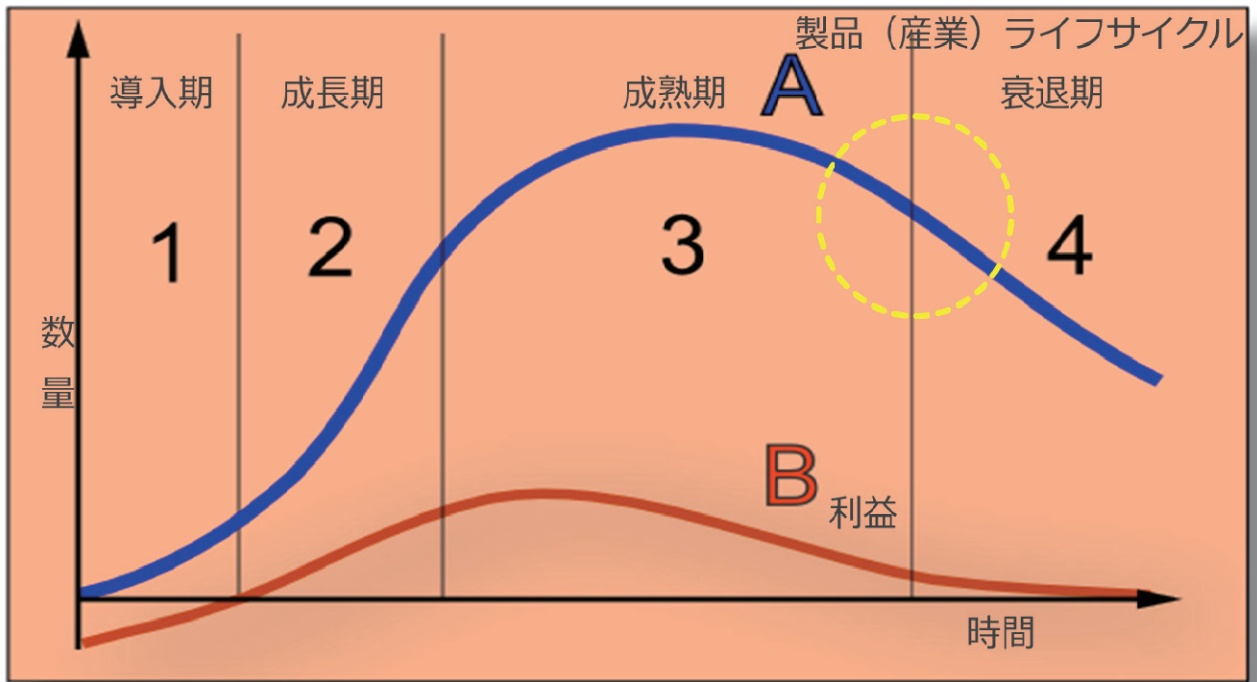


図4 製品（産業）ライフサイクル

デジタルカメラ市場は、成長期（多数の企業が参入。価格競争が生じる。）、成熟期（競争に敗れた企業が撤退。）、衰退期（数量、金額、利益が縮小。製品だけでなく、産業が縮小する。）に差し掛かっている。

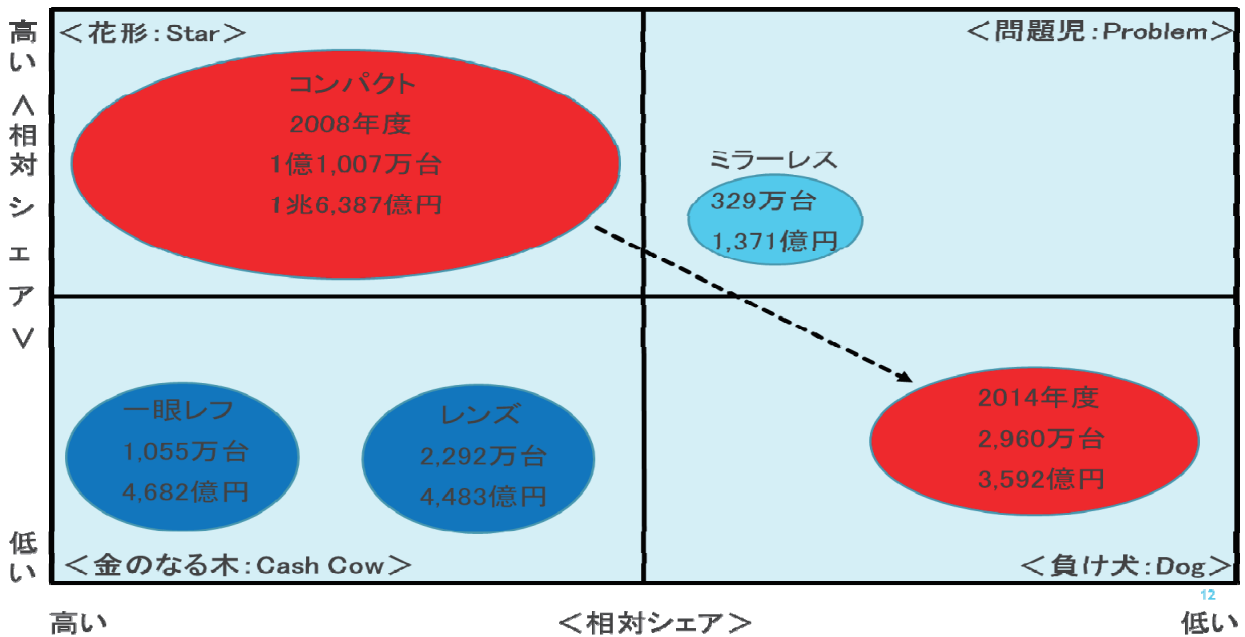


図5 デジタルカメラのPPM

コンパクトデジタルカメラ市場は、2008年度1億1,007万台、1兆6,387億円から、2014年度2,960万台、3,592億円まで市場が縮小。花形市場から負け犬市場へと転じた。

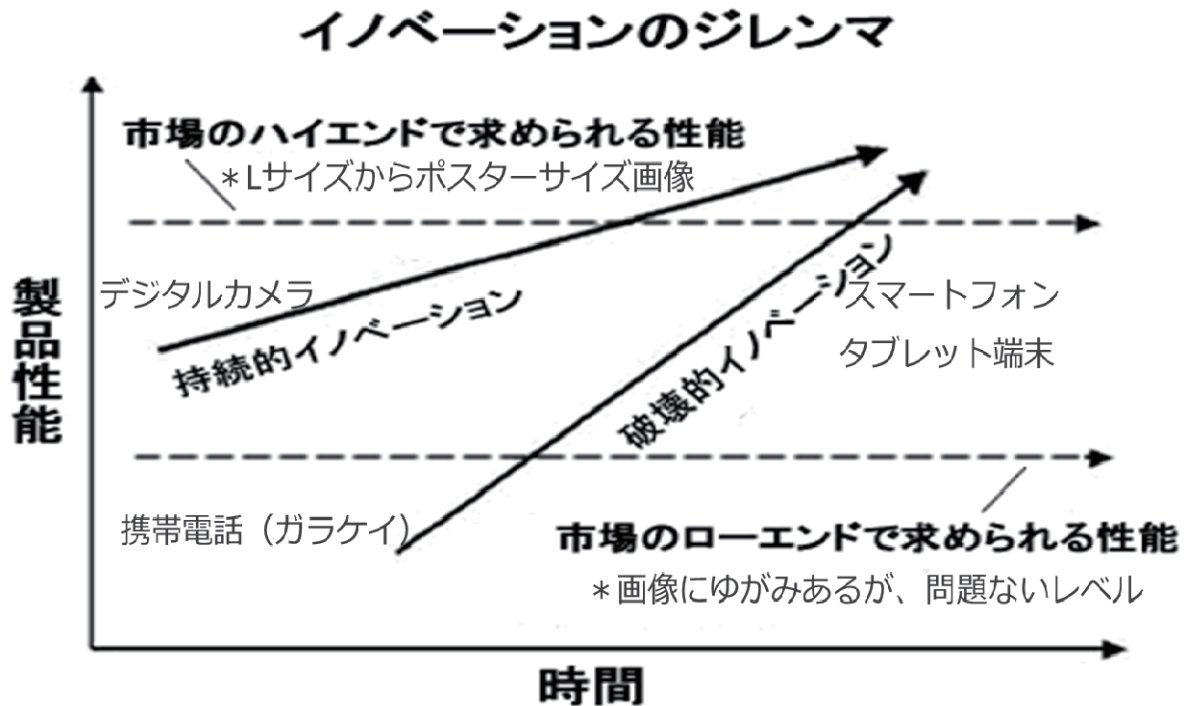


図6 イノベーションのジレンマ

デジタルカメラが持続的イノベーションをしている間に、スマートフォン、タブレット端末が、破壊的イノベーションを起こした。破壊的イノベーションの加速は、撮像素子の高画素、画像技術、フォト・アプリソフト、SNSサービスの普及などが要因。

3. 結論と考察

デジタルカメラの総出荷台数は、2010年度1億2,146万台をピークに減少。2014年度4,343万台、ピーク時の36%に縮小。交換レンズの総出荷台数は、2012年度3,037万台をピークに減少。2014年度2,293万台、ピーク時の76%に縮小。デジタルカメラの総出荷額は、2008年度2兆1,640億円をピークに減少。

2014年度9,645億円、ピーク時の45%に減少。交換レンズの総出荷額は、2013年度5,042億円をピークに減少。2014年度4,483億円、ピーク時の89%に減少。デジタルカメラ関連の総額は、ピーク時2兆6,682億円から1兆4,128億円へ減少。

デジタルカメラ市場の成長は、パソコン、インターネットの普及と共に普及した。しかし、スマートフォンの破壊的イノベーションによって、代替が進行した結果、デジタルカメラ市場は、縮小した。

【参考文献】

- [1] 「統計データ(1999年度～2014年度)」 カメラ映像機器工業会(CIPA)
- [2] 「製品戦略マネジメントの構築」 伊藤宗彦著 有斐閣 (2004年5月)
- [3] 「戦略づくりの七つ道具」 若林広二著 中央経済社 (2004年5月)